



# 万部おねり



## 清らかな仏国土へのいざない

融通念佛宗務総長 吉村 暉 英

五月一日から五日まで、恒例の万部法要がつとまります。皆さまがたのご参詣を心よりお待ちしております。

### 菩薩の練り供養

万部法要の二十五菩薩練り供養は、大阪市の無形文化財に指定されており、極楽浄土の莊嚴華麗な様子が現世にうつし出されます。平安時代初期から起こった厭離穢土、欣求浄土（苦しみ、悩み、

もろもろの悪に満ちた現世を厭い、清らかな仏国土を求めること）の思想が、具体的な形として表現されたのが練り供養です。大念佛寺以外にも十数カ寺で行われていますが、その豪華さと洗練された菩薩の所作において、大念佛寺の比ではないように思えるのは、あながち身びいきのせいばかりではありません。常日頃から修練が積まれた結晶なのです。

### 入御と還御

練り供養は入御と還御に大別できます。入御は娑婆と呼ばれる苦悩の現世から、極楽という清らかな世界に入っていく様を具現したものであり、還御は清らかな極楽世界からもう一度娑婆世界へと還りゆく様子を現しています。

なぜ再び娑婆へ還るのかというと、これが重要な意味を持っているのです。私たちは仏の教えと導きによって、苦悩や諸悪のない幸あふれる世界にはいつていく（入御）のですが、そのままではいけない。私たちが生きているのはやはり娑

### 菩薩の伝供

入御が済むと本堂内では雅楽と声明の流れの中、菩薩がリレー式に供物を献じる伝供が行われます。これは阿弥陀経に説かれるさまざまの功徳と莊嚴（おごそかな環境）を表現したものです。

伝供のあと僧侶によって、先亡の追善と現世の安穩を祈っておつとめがなされます。そして還御になるのです。帰りの時間もありませんが、還御までゆっくり拝んでいた万部お練りのもつ意義をかみしめていただきたいと思えます。

### 世界平和祈願護摩供養

万部法要の最終日には、平野五流講による柴燈大護摩供がおこなわれます。

護摩供とは、もともとインド伝来の密教の秘法で、火を焚いてその中に供物（護摩木）を投げ入れてご本尊を供養しその加護を願う儀式のことです。これを修行して精神の向上につとめ、併せて様々な願いの成就を祈るものです。

導師には、聖護院門跡・教務部長である大峯山寺の護寺院の吉野山喜藏院 中井住職を迎え、脇には聖護院門跡総務総長である兵庫県三木市の伽那院・岡本住職それに、大阪我孫子の神光寺の加藤住職をお迎えしております。

この大護摩供は、戦没者の追悼供養・世界平和・交通安全の願いがこめられており、毎年百名にも及ぶ山伏が集い、お練りが行われ本堂での勤行の後、平野五流講の道場である「龍王殿」の前に設けられた護摩道場にて厳かに執り行われます。

今年で六十二回目を迎えるこの大護摩供には、毎年数万人の参拝者が訪れ、それぞれの願いが込められた護摩木が焚かれています。



柴燈大護摩供

# 二十五菩薩万部お練り

菩薩役長 山上瑞真

爽やかな五月の空の下、箏、篳篥、横笛の雅楽の調べが鳴り響く中、古式にのっとり二十五菩薩聖衆来迎会万部お練りが厳かに繰り広げられます。

金色に輝く諸菩薩さまの慈愛に満ちた莊嚴なお顔立ちやきらびやかな衣裳をまとわれての来迎橋を渡御されるお姿は紫雲たなびく西方極楽浄土より阿弥陀如来さま、そして二十五菩薩さまがお迎えに来て下さった光景です。参拝された皆様も自然と手を合せ和やかな清々しい気持ちで拝観されておられます。蓮台を持たれた観世音菩薩の慈悲のお姿、合掌のお姿をした勢至菩薩の智慧のたたまない、諸菩薩さまの功德そして降魔のしるしの玉幡、寶幡、清浄を表わす香炉、いろいろな楽器、幡など持物を携えて渡御される諸菩薩さまの優雅な動きと心にしみいる雅楽



と声明の調べに参拝の皆様も極楽浄土を感じていただきたく存じます。お渡りの後、本堂内に於いて御本尊に献花する菩薩伝供会があります。

菩薩の練り供養は奈良の当麻寺(来迎会式の始まり)、京都の即成院、和歌山の得生寺などで、僧侶や念佛行者の修行の為や厄除け祈願の為など各地で行われています。

本宗の来迎会万部お練りは、法明上人(一三四九年)より歴史を刻みつつ厳修されており、近年大阪市指定無形民俗文化財に登録されました。

「なお、参考資料として朝日新聞社発行のシリーズ十三号「大念仏寺・清浄光寺」編、パソコンのホームページの「大念仏寺」を検索されれば二十五菩薩が掲載されています。」

# 万部法要に出仕ひて

華道芳山流家元 吉村晴芳山

薫風がさわやかに、人々の心まで清らかに誘う五月、一日から五日のご本山万部お練り供養に出仕できることは、何よりもありがたい極楽浄土へのお渡りと心ひきまると想いをしています。

芳山流が出仕させていただいたのは、昭和二十六年、先々代家元の時から約六十年もの間こうしたありがたい場に臨ませていただいております。

私が芳山流を継承して既に十数年、はじめて練供養の列に加わらせていただいた時は、全く未知の世界を歩む想いでした。

今日まで社中のみなさんと一緒に想いをひとつに、年一回とは言え、仏様に献じる茶花の清らかさとありがたさに感服しています。

お渡りの時には、こんな機会を与えて戴き緊張と心をひとつに出来ることに、言葉では表わすことのできない体験でもあります。

生き生きとした花もいつもとは違って、よりあでやかさと麗しさを感じさせてくれます。

お献茶もより芳潤さが漂っている様に想われてなりません。

法要のあとお練り返しには、一日の大役を終えた慶びに社中の面々

# 万部おねりに想う

なにわトラベルサービス 難波勇人

私が融通念佛宗と関わりを持つ様になり、二十数年となります。

二十代前半の私は営業職として、本山からお仕事を頂戴したのですが、当時は本当に「仕事だけ」のお付き合いでした。

それから十年ほどが過ぎ、今から十数年前に改めて「万部法要」の事を恥ずかしながら知りました。今でもその時の感動は忘れる事が出来ません。

この大阪の街の中で、これだけ素晴らしいイベントが行われているんだという感動がありました。それをきっかけに、融通念佛宗に興味を持ち、宗の事を学ぶようになり、いわゆる「ファン」になりました。

以降、微力ながらお手伝いをさせて頂く御縁に恵まれました。

融通念佛宗の行事の殆どが、作りで行われています。私自身、そういった事にも魅力を感じます。万部の期間になりますと、朝七時半すぎに本山に参り、先ず本堂で手を合わせ、かすかな「香」の薫りに癒されます。

参拝にお越しの方々のための準備の中、午前は日替りのイベントが本堂で行われます。

境内には出店もあり、天気の良いれば、縁日さながらの賑わいです。午後からはメインの「万部おねり」です。実は、今となってはあたり前なのですが、改めて思い出すに、「手作り」が素晴らしいの



もほっとした顔つきで、みんなの頬が感謝と安堵に満ちています。こうした大法要に参加でき、唯々感激至極であります。

法要への参加の他、茶室へお越しの方々への接待では、平素お目にかかれないう方により豊富な人生体験を通してのお話しを伺い、それに耳を傾けることも数多くあり、心に残る出会いのある大きな一日でもあります。

お練りは極楽の世界への誘いであると教えていただきました。心静かにこの一日を感謝する機会として深く心に留めおきたいものです。

本宗には「布教師会」「讃師」「楽融会」「座奉行」「菩薩役」「融通教会」といった諸役があり、「菩薩役」を僧侶の方々がされて

いる事はめずらしい事と聞いた覚えがあります。又、各末寺の奥様でつくられる「寺院婦人会」の方々もコーラス、詠讚、バザー等にご活躍されています。

本堂の鐘の音とともにお渡りははじまります。禅門講の方々やの鉦を叩きながらのお渡り、来賓の方々のお渡り、和服もあでやかに献華献茶のお渡り、又、稚児さんの愛らしいお渡り等、拝見していても自然と笑みがこぼれてきます。

諸役の方々が登場される頃より雰囲気が変わります。管長猥下と紫金職様が登場され、

お渡りの雰囲気が変わり、毎回拝見するのですが思わず手を合わせています。

特に二十五菩薩様が現れますと、ひと言で「見事」と感銘いたします。本堂に入られましたら法要が執り行われます。

あくまでも私個人の考えではありますが、「お練り供養」のお渡りに何かを念じ、菩薩様をお願いをして、本堂で「おつとめ」をしてもらっていると想っています。したがって、菩薩様がお還りになられる際にも改めて手を合わせる様にしています。

年に一回、五日間のこの行事に是非ともお参りされてはいかがでしょう。今年も私は楽しみにしています。



# 雅のハーモニー

融通念佛宗 楽融会

五月四日(日) 午前十一時〜十二時

本山楽役(楽融会)で管弦と舞楽を演奏致します。今年で七回目になります。毎回満堂の参拝者を魅了し好評を頂いております。万部法要のひとつとき雅な平安の調べに浸って頂いて皆様の心がすこしでも癒されれば幸いです。

## 第一部 管弦「太食調音取」

「合歓塩」

## 第二部 舞楽「振舞」

「万歳楽」  
「胡蝶」

**管弦**  
管楽器の笙・箏・篳篥・龍笛と弦楽器の琵琶・箏・琴・三味線・打楽器の鞆・太鼓・鉦鼓を加えた編成で演奏されます。洋楽のオーケストラに相当します。

## 太食調音取

音取とは演奏の初めに奏される短い曲で、各楽器の音律を整え、その旋法を知らせると共に雰囲気を作り出します。管と弦の第一奏者と鞆鼓とがこれを奏します。

## 合歓塩

唐楽(中国系の曲)で太食調早四拍子で、メロディーが美しく、形式の良く整った曲です。歓喜の声を備えていると云われ、管弦曲として演奏されることが多い。又舞楽で「太平楽」の時に「急」の舞の曲として演奏されるが、曲の由来は詳らかではありません。

## 舞楽

管弦に対して舞の入った演奏形式のことを言います。管弦と同じく三管・三鼓を用いますが、琵琶と箏は入りません。



胡蝶

## 振舞

舞人が鉦を手に登場し、天下泰平を天の神・地の神・先祖に祈って舞台を清めます。

## 万歳楽

「唐楽」左方の舞で、唐の則天武后が大切に飼っていたオウムがいつも「万歳万歳」と鳴くので武后が大いに喜び、その鳴き声をとって作曲されたものと言われ、大変わた曲とされています。

## 胡蝶

胡の国の蝶が嬉々として遊ぶ様子を舞にしたともいわれ、左方の「迦陵頻」とともに数少ない童舞舞です。美しい蝶の羽根を背に付け、山吹の花を押しした天冠をかぶり、山吹の枝を手を持って舞います。「高麗楽」右方の舞です。

# 「万部会融通声明コンサート」

融通声明研究会

五月三日(月) 午前十二時より

今年のコンサートは、「パンの笛」(葦・竹で出来た笛)の奏者岩田英憲さんをお招きして「声明コンサート」を開催いたします。昨年那邦楽統奏器、尺八の世界をご紹介いたしました。今年変わって変わって海の向こう西洋

## 舞楽(童子舞) 舞人募集

総本山 楽役では、万部法要のイベント(毎年五月四日予定)や寺社などの奉納舞楽に出演して頂く童子舞の舞人を追加募集いたします。ご希望の方は、保護者住所・氏名・電話番号・子供の年齢・身長を明記の上左記要項に従ってお申し込み下さい。

- 一、募集人数 若干名
- 二、資格年齢 満五歳から十二歳 身長が一五七センチ位迄
- 三、申し込み締切日 平成二十年五月末日
- 四、申し込み先 総本山 大念佛寺内 楽役



の伝統吹奏楽器「パン」という笛の音色の世界をご紹介します。 「パン」は、刈り取られた葦の茎束に風が吹き抜けた時、えもいわれぬ美しい音を奏でたことにより、それが元で新たに楽器として工夫創作された葦の笛で、パイプオルガンの元祖とされています。 「最古の管楽器」ともいわれ、紀元前六世紀には地中海沿岸地域に存在していました。中国の排笙やアンスのサンポーニヤも同じ仕組みです。ミクロネシア、アフリカなど葦・竹の茂るところで諸種作られ世界各地で奏でられています。野性的な荒々しさを感ぜさせながらも、どこか懐かしさを感じさせたい音色は、いにしへの羊飼いたちのどかな暮らしを思い出させます。

今回は、この西洋生まれの伝統楽器とともに声明を唱えたいと思っております。はるか昔のシルクロードによって結ばれる「パンの笛演奏」と仏教讃歌声明のコンサート」：遠い昔のロマンに思いを馳せながらどうぞお楽しみください。

「出演者」  
声明：融通声明研究会  
パンの笛(パンフルート)：岩田英憲さん  
ハモンドオルガン：橋本千鳥さん

「パンの笛」  
長さや太さの異なる管(葦・竹)の底を閉じて音階順に並べ、現在では二十管前後のものが使われています。空き瓶を吹いて音を出すのと同じ単純な構造で、半音を出したり転調した



岩田英憲

りするときは吹き込む息の角度を調節するなどして音を作り出します。

「万部会」に思う  
融通念佛宗布教師 市川 徳 妙  
「万部会」は、陽光爽やかな五月一日から五日迄厳修され、我宗にとつては「御回在」「百万遍会」と共に三本柱となる大イベントである。具には「二十五菩薩聖衆來迎阿彌陀經万部法要」と称し、この法要中、阿彌陀經を一万部誦し、祖先の追福を祈り、仏徳を讃嘆し、平和樂土の建設(世界平和)を願うものである。本堂周囲にしつらえられた回廊を、雅楽の音に乗り、静かに渡御される菩薩のお姿は、あたたか極楽浄土がこの世に現出されたかの様な清浄な気分浸らせて下さる。

来迎会は「迎講」ともい、恵心僧都源信の『往生要集』以来、急速に広まったと言われている。「二十五菩薩來迎」の儀式は、念仏行者の臨終には、阿彌陀仏が多量の菩薩を従えて、極楽浄土に迎へとつてくださるといふ有様を具現したもので、大切な事はこれを拝する私達一人ひとりが、心の内に極楽浄土を築き上げる事である。正面本堂右手に位置する樂那殿に

さず持ち歩いたといわれています。「パンの笛」と呼ばれる所以です。  
「岩田英憲さんプロフィール」  
広島県生まれ。国立音楽大学、ウィーン市立音楽院、ウィーン国立音楽大学フルート科卒業。バーデン市立劇場オーケストラ第一フルート奏者。一九八〇年ルーマニアブカレストで「パンの笛」を学び、日本初の「パンの笛」奏者となる。NHKテレビ「新日本紀行」、TBSテレビ「小さな旅と美術館」のテーマ曲演奏でおなじみ。

於いては塔婆回向がなされ、又、同時に融通念佛宗布教師に依る説法もなされ、大念佛寺は、普段にも増して「法の光」に包まれ、まさに「極楽浄土」さながらの世界である。私達は、日頃「歩み」を止め「我が足元を見つめ直す」という事が少ない様に想われる。せめて一年に一度「万部法要」に足を運び、お練りの菩薩を拝し、心を浄化し、常に「死を見据え」限り有る自分の余命を直視し、いかなる時も仏の御心に我が心を重ね、仏と共に有る人生(日暮し)即ち菩薩行(忘己利他)に励んでまいりたいものである。その一番の手立てはやはり「口称融通念佛」即ち「日課百遍のお念仏」と「早旦のお念仏」である。師資相承されて来たこの尊いお念仏の法門に会

い得た仏縁の深き我が身を喜び、真心一つに、お互いお念仏相統の道を歩ませていただく事こそ、万部会の所以と考える。

注 忘己利他：自分の事は後廻しにしても人様の幸せを願う。日課百遍：一日百遍のお念仏を称える。早旦のお念仏：朝洗面後、西に向いて「弥陀所伝融通念佛億百万遍決定往生」の偈文の後十遍のお念仏を称える。

### 平成20年度 万部法要各種奉納日程・時間表

平成20年5月1日～5日

日程 時間	5月1日 (木曜日)	5月2日 (金曜日)	5月3日 (土曜日)	5月4日 (日曜日)	5月5日 (月曜日)	日程 時間
6時30分	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行	6時30分
7時30分						7時30分
10時00分	おつとめ	おつとめ	おつとめ	おつとめ	おつとめ	10時00分
10時30分					コーラス奉納 聖歌隊	10時30分
11時00分	八島念仏講	大念佛寺 奉賛会物故者 追善法要	「融通声明 コンサートの 集い」	「雅の ハーモニー」	布教 (中川直也)	11時00分
11時30分	安堵念仏講	コーラス奉納 聖歌隊	融通声明 研究会他	融通念佛宗 楽融会	総長あいさつ 魚山流 詠讚歌舞 奉納	11時30分
12時00分	魚山流 詠讚歌舞 奉納	魚山流 詠讚歌舞 奉納	魚山流 詠讚歌舞 奉納	魚山流 詠讚歌舞 奉納	世界平和 祈願 護摩供養	12時00分
12時30分	布教 (磯田良孝)	布教 (中村岑生)	布教 (穂積恩好)	布教 (山本静章)		12時30分
13時00分	総長あいさつ	二十五菩薩 お練り供養 入御	総長あいさつ	二十五菩薩 お練り供養 入御	二十五菩薩 お練り供養 入御	13時00分
13時10分	二十五菩薩 お練り供養 入御	二十五菩薩 お練り供養 入御	二十五菩薩 お練り供養 入御	二十五菩薩 お練り供養 入御	二十五菩薩 お練り供養 入御	13時10分
14時00分	おつとめ	おつとめ	おつとめ	おつとめ	おつとめ	14時00分
15時00分	還御	還御	還御	還御	還御	15時00分
15時30分						15時30分
献花献茶	吉村社中	高松社中	淡交会社中	尾田社中	中島社中	

※楽邦殿その他の場所にて、随所布教を行います。※寺庭婦人会主催のバザーは5月3日 午前10時30分より行います。  
 ※都合により催物が変更する場合がありますのでご了承下さい。

インターネットで大念佛寺の情報をご覧下さい。 <http://www.dainenbutsuji.com/>

## 宝物館だより

一日～五日 午前10時～午後四時

宝物館では本山の宝物が展示されます。今回の展示品は融通念佛勸進帳(写真)、良忍上人画像、融通大念仏亀鉦縁起など合計十点左右です。この機会にしか拝観できないものばかりを展示しておりますので皆さんお誘い合わせの上、ご観覧下さい。

## 二〇〇八年度の展示品

良忍上人画像

室町時代 大念佛寺蔵  
融通念佛宗の宗祖良忍上人の肖像画。上人は比叡山で修行後、大原へ隠遁し、のち平野を訪れたと伝えます。上人の肖像としては最も古いものです。  
重要文化財 融通念佛勸進帳  
室町時代 大念佛寺蔵 後小松天皇(一三七七～一四二三)の自

筆で、すべての人に融通念佛名帳にその名を記させ、融通念佛への帰依を勧めています。金銀泥で秋草などの下絵を華麗に描いた料紙を用いています。



## 青年会だより

## 魚山流詠讚歌舞

欠かすことのできないものでありますが、このような背景にもとづくものなのです。詠讚歌舞は、十界一念と示された宗祖聖應大師の御心に直入するものであり、舞は宗祖の教を舞姿で表わしています。さて、一昨年より、家元武田花風師のご理解、ご協力を頂いて制作にあたっていただきました魚山流詠讚歌舞集DVDが、このたび完成致しました。今回収録しました曲目は、十八曲と舞二〇曲です。他曲も今後収録し制作する予定であります。

万部法要のおねり供養で、一番最初に来迎されます観世音菩薩さまを模った根付(ストラップ)を総本山大念佛寺内売店にて、一つ七〇〇円で販売しております。観世音菩薩は、世の人々の音声を観じて、この苦悩から救済していただける菩薩さまで、衆生である私たちの求めに応じて色々なお姿に変化し、大慈悲を与えるとも言われています。この機会にさまざまに災難苦難から守っていただけるお守りとして根付(ストラップ)に変化なされた観世音菩薩さまをひとつお側におかれてはいかがでしょうか。

また、この度、融通念佛宗青年会では、「まんぶおねり ぼさつさまぬりえ」を作成いたしました。自分自身の願いや思いを届けるため、この観音さまに色を付けましょう。完成作品を青年会事務局までお届け下さい。万部法要期間中大念佛寺内休憩所(売店)にて展示させていただきます。  
ご希望、お問い合わせは、大念佛寺青年会事務局(宗務所内)まで。

万部法要の和讃  
万部お会式 早苗月  
銀杏 散らしの袈裟姿  
老いも若きも手をひいて  
さつさ参るよ 法の山  
さつさ参るよ 法の山  
詠讚歌舞は敗戦の混乱で荒廃した世の中に「心に光明を」との願いから、故清原秀倍師作詞、故夏野義常師作曲の詠讚、詠歌を昭和二十五年当時に、融通教会魚山流詠讚歌舞家元、武田花風師により万部会和讃に振りつけられたものであります。五月晴れの万部法要に誰にも親しまれ口ずさまれる万部会和讃及び金銀の舞扇の折り返される華麗な渡御は、万部法要に

## 勧進ご案内

本堂に於きましてお線香(巻線香)並びにローソクの勧進をいたしてお供え下さい。また、塔婆回向勧進も受付けております。  
お線香 (巻線香) 五百円  
ローソク 大(正面用) 二千円  
ローソク 中(脇檀用) 一千円  
瓦勧進 二千円

## 塔婆回向

万部中常回向(五日間) 五千元  
当日回向 (一日) 三千元  
※万部中常回向は万部が終わっても五日間ご回向致します。

## 話せば心も軽くなる

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。  
月曜日：浄土真宗本願寺派・真宗大谷派 火曜日：天台宗・真言宗  
水曜日：臨濟宗・曹洞宗・黄檗宗 木曜日：日蓮宗 金曜日：浄土宗・融通念佛宗  
(月曜日～金曜日 一月十四日～二十四日(八月休) 午後二時～五時迄)



## 別時念仏会のおさそい

二〇〇八年五月二十四日(土) 午後二時より  
場所 大念佛寺瑞祥閣にて  
癒しの音楽あり

## 稚児おねりのご案内

■日程 五月一日～五日  
■費用 一人一日 八千円  
(一切の費用を含みます)  
※白足袋か白ソックスを必ず持参下さい。  
■申込 参加希望日を大念佛寺事務所で  
まで  
電話〇六六七九一〇〇二六  
※雨天でも行います  
※当日の申込は午前十一時まで受付けております。